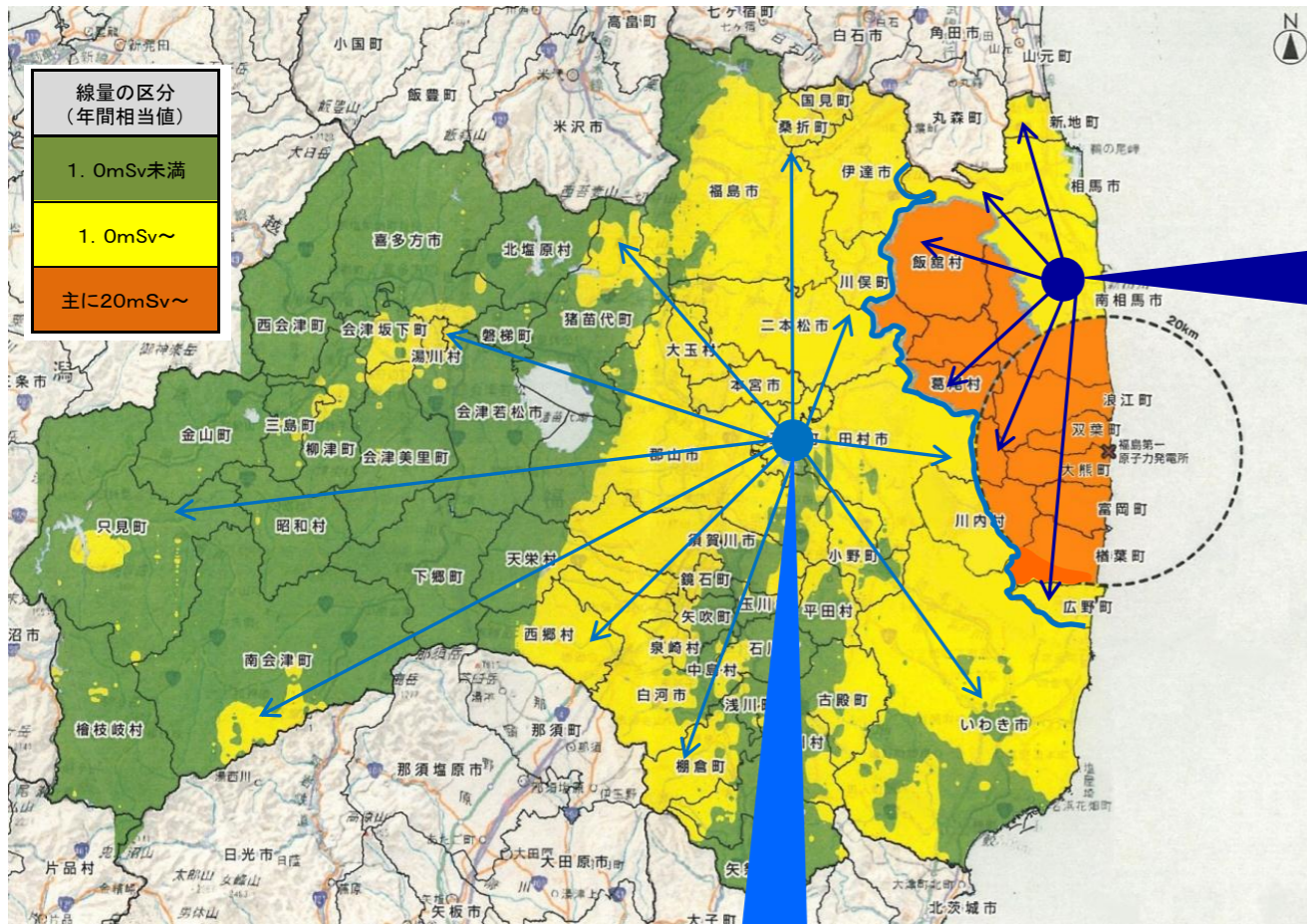


福島県環境創造センター（仮称）基本構想の概要

1 基本理念

- 放射性物質により汚染された環境を早急に回復し、県民が将来にわたり安心して暮らせる環境を創造する。
- 国内外の研究機関と緊密な連携の下、世界に冠たる国際的研究拠点を目指す。

2 施設の概要



B施設（南相馬市）

- 機能
 - ①原子力関連施設周辺のモニタリング
 - ②原子力関連施設の安全監視
- 施設概要
 - 敷地面積:3.7haのうち1~2ha
 - 延床面積:3,000m²程度
 - 鉄筋コンクリート2階建 1棟
 - ① 本館 3,000m²程度



萱浜ニュースポーツ広場

3 整備スケジュール

整備工程	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
基本設計 実施設計		→			
建設工事			A施設 B施設	A施設 一部開所 B施設の開所	開所 全施設

A施設（三春町）

- 機能
 - ①モニタリング ②調査・研究 ③情報収集・発信 ④教育・研修・交流
 - 施設概要
 - 敷地面積:8haのうち4ha程度
 - 延床面積:16,000m²程度
 - 鉄筋コンクリート2階建 3棟
 - ① 本館 5,000m²程度
 - ② 研究棟 6,000m²程度
 - ③ 交流棟 5,000m²程度
- ※ 附属施設2か所を含む



田村西部工業団地

4 整備費用(概算)

200億円(施設整備費100億円+年間運営費10億円×10年)+用地取得費
 ※既予算は80億円であるため、国に対し、引き続き不足分の財源措置を求めていく。

5 運営

- IAEAの招致、JAEA、国環研との連携などにより国内外の研究機関と緊密な協力関係を構築する。
- 効果的、効率的な運営のため、関係者間で協議の上、中長期取組方針や年次計画を策定するとともに、策定に当たっては県民や地元自治体等のニーズを適切に反映させる。
- 本年中に有識者からなる協議の場を設置し、具体的な運営の在り方などの検討を開始する。